

発行 社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804
福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3785
FAX 092-584-3369
Email kosodate@fuku-shakyo.jp



平成 22 年度子育て支援研修会 子育て支援にかたろう託児室で撮影

笑顔あふれる地域づくり

子育て支援事業推進室では、10月3日(日)に「平成22年度 子育て支援研修会 子育て支援にかたろう」を開催しました。この研修会は、地域の宝である子どもたちがすくすくと元気に育ち、お母さん・お父さん、地域みんなで子どもたちの成長を喜び合い、子育ての楽しさを分かちあえる環境を作りたい。そんな願いをこめて開催しました。

当日は、子育て中の方、子育てサロンや支援活動に取り組んでいる方など約120名の方に参加いただきました。研修会では、地域に住む一人一人が自分に出来る子育て支援について考えました。

もくじ

- 平成22年度子育て支援研修会
子育て支援にかたろう…………… 2~3
- 遊びに来てね!! ふくすくキッズパーク…………… 4

この研修会で、親子のために一生懸命取り組んでいるみなさんに出会うことができ、元気をもらいました。

これからも、子育て支援事業推進室は、親子が安心して子育てができ、笑顔あふれる地域作りをめざし、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

(子育て支援事業推進室)



あなたにも出来ること！考えてみませんか？

福岡県社会福祉協議会では、平成22年10月3日(日)に福岡市で、「平成22年度子育て支援研修会 子育て支援にかたろう」を開催しました。

講師に大阪市立大学 生活科学部 教授 山縣文治先生、実践報告に福岡県から太宰府ファミリーネット・はらつばスタッフ伊東妙子さん、長崎県から育Men's倶楽部ながさきリーダー久米初さん、スタッフ中野明さん、熊本県から託麻原校区子育てネットワークの会 熊本市託麻原校区民生委員児童委員協議会会長 濱和子さんをお招きして、みんなでこれからの子育て支援について考えました。



講演

山縣文治先生に「今、わたしたちにできること」～小さな命を育むために～と題して、現代の親子の置かれている状況の中、子育て支援者として求められること、親子を支える視点についてお話いただきました。



大阪市立大学 生活科学部
教授 山縣 文治 先生

人間は、見たこと、経験したことがないことは知識から引っ張りだそうとします。身近に子どもと触れ合ったり、遊んだ経験がないお母さんは、子育ての情報を育児書から知ろうとします。しかし、育児書に書かれている子どもは、実際に育てている子どもと違います。育児書通りにならず、お母さんは混乱し不安を募らせていきます。このように、子育てを身近に見たり、経験したりする機会が減少したことによって、子どもが育つということの実感が湧かなくなってきました。そして、情報がたくさんできてきて、訳がわからなくなってきました。これが、今の子育て現場の状況です。今、お母さんたちがこのような状況に置かれていることをまず理解してあげましょう。お母さんたちの声に「そうよね。」としっかり頷いてあげることからスタートして、時間をかけて支援していきましょう。気持ちを理解することと、その通りにすることは違います。気持ちを理解し、その気持ちを入口にして、自分たちが持っている子育て支援の理念、信条を展開していくことが大切です。

子ども、親が育ち、親子関係を育て、それを地域社会で育むことが子育て支援です。子育て支援者には、自分たちの活動情報を発信する力、地域や親子の姿をつかみそれを事業に展開する力、親子の心に寄り添い成長を育む力、地域特性に合わせて活動を工夫する力、制度を呼び込む力、地域資源を呼び込む力・創り出す力、チームで仕事をやる力が求められます。自分たちだけのグループで行うのではなく、他のグループとつながりながら、みんなでやっていきましょう。



参加して下さったみなさんからは、「支援者としての関わりの中で、大切なこと、改めて気づかされた事が多かったです。」「これからの活動にとっても役立ちました。勇気と希望を頂きました。」「現在やっているサロン活動への心構えを現場に戻って改めて確認しようと思います。」などの感想をいただきました。

また、子育て中のお母さんからは、「子育てをしている中で、こんなにも真剣に子育てを支援しようと頑張っている方が多いことに驚きました。これから、子育てをもっと元気に安心してやっていける気がします。」との嬉しい声もいただきました。

そして、最後に山縣先生からは「『あきらめない』で親子に寄り添ってください!!」とのエールをいただきました。

実践報告

様々な立場で子育て支援に取り組んでいる方々に実践報告を頂きました。

先輩ママとして



太宰府ファミリーネット・はらっぱ
スタッフ 伊東 妙子氏

太宰府ファミリーネット・はらっぱは、誰でも気軽に集まれる場所を作りたいと思い、2002年10月に発足しました。

これまで、月1回の定例会、はらっぱルーム、ウェルカムパーティーなどのイベントを開催しました。また、「ネットワーク通信 はらっぱ」で子育て情報の発信に取り組んでいます。

はらっぱは「できる人ができる時にできることを」をモットーにしている、スタッフがお互いに無理をしない活動が継続の秘訣です。この思いがあるからこそ、はらっぱは、子どもが大きくなり卒業したお母さんたちもスタッフとして残ってくれています。その先輩ママが、経験を活かしたアドバイスや現役お母さんたちが無理をしないようにプレーキ役になっています。先輩ママは子どもが大きくなるとともにPTAや地域でたくさんの活動と出会い、その経験をはらっぱのみんなに伝えてくれています。

お父さんとして



育 Men's 倶楽部ながさき

(左)リーダー 久米 初 氏
(右)スタッフ 中野 明 氏

育 Men's 倶楽部ながさきは、「子育て中のお父さんの姿を見せたい」という思いで2009年3月に発足しました。

お母さん同士は交流があり、サロンの活動など活発でした。しかし、お父さんは1人でぼつんとしていることが多く、これではダメだと思い、声かけを始めると、みんな積極的に協力してくれました。やはり、子育て中のお父さんたちも、実は子育ての仲間が欲しいという思いがあることが分かりました。

お父さんたちの力を活かせる門松作りや竹を使ったソーメン流しなどのイベントや本音で話すことができるお父さんだけの飲み会は大好評です。

これからは、自分たちの親から生活の知恵などを学び、それを子どもたちに伝えていくこと、また、子どもたちに輝いている父親の姿を見せていけるような活動に取り組んでいきたいと思っています。

民生委員児童委員として



託麻原校区子育てネットワークの会
濱 和子 氏

託麻原校区は、熊本市の中心街に近く、転勤してくる若い世代の親子が多い地域です。そこで、1994年に町内会長さんが、孤立している親子のために、「親子の集まりをもてないか」と提案したことから、子育てのつどいが設立しました。

子育てのつどいは5組～6組の親子と一緒に公園で遊ぶことから始まり、少しずつ参加してくれる親子が増え、託麻原校区全体に活動が広がり、1996年に子育てネットワークの会の発足につながりました。活動が校区全体に広がったことで、校区社協の協力も得られるようになりました。

子育てネットワークの会には、子育てのつどい部会・エンゼルキッズ部会・子育てマップ部会があり、校区社協を中心に、保育園、地域の学校、保健師さんなどに協力してもらいながらマップ作りやサロンの開催などの活動を行っています。

今後も、ネットワークを大切にしていき、地域でお手伝いが必要な親子がいたときは、一人で抱え込まず、校区の様々な団体が手を取り合い解決していけるような地域作りを強化していきたいです。

実践報告を聞いたみなさんからは、「他地域の活動を知ることがなかなかないので、とても参考になりました。自分たちの地域で出来る方法をしっかり考えていきたいと思いました。」や「育 Men's 倶楽部ながさきのようなお父さんのグループがこれからもっと福岡に広がって欲しいですね。」などの声をいただきました。

この研修会をきっかけに、地域の一人一人にできる子育て支援を考え、今後の活動につながっていくことを期待しています。



遊びに来てね!!ふくすくキッズパーク

11月13日(土)・14日(日)の2日間、クローバープラザ(春日市)をメイン会場として「**第10回 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭**」が開催されます。

スポーツ・文化を通じた高齢者の生きがいづくり、仲間作り、健康づくりを支援するとともに、世代を超えた交流を深め、社会参加を促進し、「はつらつとした高齢社会」を築くことを目的に始まったこの大会も今年で10回目を迎えます。

大会期間中は、野球解説者衣笠祥雄さんの記念講演、各種スポーツ交流大会、ねんりんファッションショー、地域の笑顔写真展、ふれあい市場、おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクールなどたくさんのイベントが行われます。

子育て支援事業推進室では、**ふくすくキッズパーク**と題して、来場した親子が楽しく一緒に遊べる広場をつくります。音楽や音に合わせて体を動かす親子リトミック、クリスマスカード作り、お菓

子作りなど楽しい企画が盛りだくさんです!!

また、会場には県内の子育てサロン情報、市町村社協の取組み紹介など情報コーナーもあります。

私たちもみなさんと一緒に楽しく遊びたいと思います。みなさんのご来場をお待ちしています。



昨年のふくすくキッズパークの1コマ

一葉

夏の猛暑が嘘のように、急に季節が変わり寒くなってきました。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期です。緊急サポートの依頼や問合せも多く、コーディネートは忙しなっています。

さて、秋は運動会や文化祭、研修会などイベントが盛りだくさんの季節です。子育て支援事業推進室でも、本号で紹介しているように、10月3日に子育て支援研修会を開催しました。当日は、小雨が降る中、県内だけでなく、県外からも足を運んでいただき、120名のみなさんに参加いただきました。地域で出会ったお母さん、支援者のみなさんと久しぶりに再会し、お子さんの様子を教えてもらったり、サロン活動の近況を教

えていただいたりと、たくさんの方とお話することができました。地域で出会ったみなさんに顔と名前を覚えていただき、たくさんの方に声をかけてもらい本当に嬉しかったです。今年は少人数のグループに分かれてお互いの活動の紹介や、一つの事例についてみんなで意見を出し合うなど、参加者同士の交流がたくさんあり賑やかな研修会となりました。

私自身も、この研修会で、親子のことについて真剣に考え、一生懸命取り組んでいるみなさんとお話しながら一緒に勉強させてもらいました。みなさんの大きな笑い声と満面の笑みに元気をもらった一日でした。子育て支援事業推進室だけでは出来ないことも、研修会に集まった皆さんと手をつないだら出来ることがたくさんあると思います。これからも、福岡で子育て出来るようになった皆さんの親子が実感できるような地域を増やしていきたいですね。

(古川)

大募集!



「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)

この情報誌は、共同募金の配分金及び、株式会社NTTドコモ(NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド)の寄付金の一部で発行しています。